

## 令和7年度 学力・体力向上プラン

学校名 有馬小

学校

## 1 課題

【4月】令和6年度学力向上プランの検証結果、学校評価の結果等によって明らかになった課題 【10月】令和7年度学習力サポートテスト、体力テストの結果等によって明らかになった課題	
児童・生徒の学力の課題	
国 語	<p>【4月】全国の正答率を上回っているものの、4年生はすべての観点で、5年生は主体的に学習に取り組む態度以外の観点で区の平均点を下回っている。また、4年生・5年生ともに配当学年の漢字を正しく書く力が十分に身に付いていない。</p> <p>【10月】全国の正答率を上回っているものの、言葉の特徴や使い方に関する事項においてすべての学年で区の平均点を下回っている。また、すべての学年で書く領域の正答率が他の領域と比較して低かった。特に4年生は配当学年の漢字を正しく書く力が十分に身に付いていない。</p>
算数・数学	<p>【4月】全国の正答率は上回っているものの、4年生は「数と計算」領域での四則計算のミスや「円と球・三角形」の図形領域での作図問題の正答率が若干低い。5年生は「いろいろな形」の図形領域での作図や「折れ線グラフと表」の変化と関係の領域の正答率が若干低い。6年生は「小数の計算」での文章問題の立式や「円グラフや棒グラフ・平均」でのデータの活用領域が若干低い。</p> <p>【10月】区の正答率は上回っているものの、4年生は「わり算」の文章題での立式が若干低い。5年生は「いろいろな形」の図形領域での作図や「折れ線グラフと表」の変化と関係の領域が区の平均よりも低い。6年生は「割合」での立式・計算や「円グラフや棒グラフ・平均」でのデータの活用領域が若干低い。</p>
社 会	<p>【4月】4年生は「市の様子」での四方位、地図の読み取りや地図記号の理解が全国の正答率を下回っている。5年生は「緑のダム仕組み」「清掃工場の仕組み」「水害への備え」についての理解が不十分である。5、6年生は、資料を適切に読み取り、資料から考えたり、調べたことを既存の知識と比較、関連付けて思考したりすることに課題がある。</p> <p>【10月】5年生は「都道府県の様子」「くらしをささえる水」「ごみの処理と利用」についての理解が不十分である。6年生は「日本の農業」「日本の食料生産」「日本の工業生産」についての理解が不十分である。すべての学年で、資料を適切に読み取り、資料から考えたり、調べたことを既存の知識と比較、関連付けて思考したりすることに課題がある。</p>
理 科	<p>【4月】4年生の「植物の育ち方」や5年生の「1年間の動物のようす」6年生の「植物の花のつくりと実」では、全国正答率を下回っている。</p> <p>【10月】4年生の「植物の育ち方」や6年生の「魚のたんじょう」「顕微鏡の使い方」では、全国正答率を下回っている。</p>
英 語	<p>【4月】正答率は全国の平均を11.5ポイント、区平均値を上回っている。また一方でアルファベットの書きに若干課題がある。</p> <p>【10月】正答率は区の平均を下回っている。「アルファベットの書き」や「英文の完成」など英語を書くことに若干課題がある。</p>
体力向上	<p>【4月】全学年、男女ともに「握力」が全国の平均を下回っている。1、4、5、6年生の男子、1、5、6年生の女子の「長座体前屈」も、全国の平均を下回っている。1、2年の男女はともに「50m走」では、全国の平均を下回っている。</p> <p>【10月】ほぼ全ての学年で、男女ともに「握力」「ボール投げ」「20mシャトルラン」「長座体前屈」が全国の平均を下回っている。</p>

## 2 年度末までの目標及び指標、具体的な取組

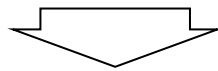
	年度末までの目標及び指標	具体的な取組
国 語	<p>【4月】 「令和7年度学習力サポートテスト」の全ての実施学年で、それぞれ区平均点を1ポイント上回るようにする。漢字を正しく書くことについて、すべての実施学年で全国の平均を上回るようにする。</p> <p>【10月】 「令和8年度学習力サポートテスト」の全ての実施学年で、それぞれ区平均点を1ポイント上回るようにする。言葉の特徴や使い方について、すべての実施学年で区の平均を上回るようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・話の聞き方や発表の仕方の約束（学習の7つの約束）の徹底を図る。</li> <li>・朝読書の時間や図書の時間には、図書館指導員と連携を図り、様々なジャンルの本に親しませ、読書の幅を広げるようにする。</li> <li>・学習で出てきた文章を丁寧に読み取る機会を作り、文章の内容を正しく読み取ることができるようにする。また、問われていることに対して、どのように答えるべきか、演習を重ねる。</li> <li>・漢字の学習では、へんやつくりなどを正しく覚えられるようにする。また、文章を書く際には、これまでに学習した漢字を正しく使うように指導するとともに、辞書を手に置き、分からない言葉や漢字は自分で調べる習慣をつけさせる。</li> <li>・ICT機器を活用し、考えの可視化、共有化、文章を書く場面等で学習用タブレットを有効活用する。</li> </ul>
算数・数学	<p>【4月】 「令和7年度学習力サポートテスト」の全ての実施学年で、それぞれ区平均点を1ポイント上回るようにする。図形領域について、すべての実施学年で全国の平均を上回るようにする。</p> <p>【10月】 「令和8年度学習力サポートテスト」の全ての実施学年で、それぞれ区平均点を1ポイント上回るようにする。データ活用領域について、すべての実施学年で全国の平均を上回るようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単元に入る前に、レディネステストを行い、既習事項の定着を把握し、習熟度別少人数クラスに分けて指導を行う。</li> <li>・演算決定の際、図や数直線を活用する場面を設定し、数直線の見方やとらえ方についても指導する。</li> <li>・ICT機器を効果的に活用し、自分の思考や友達の意見を取り入れたノートを書き方を指導する。</li> <li>・作図の演習を行い、図の書き方の定着を図る。</li> <li>・東京ベーシック・ドリルの診断テストを活用して児童の課題を明確にし、算数ステップアップ教室で補習することで既習した学習の習熟を図る。</li> <li>・学習用タブレットのドリルソフトを活用して習熟を図ったり、図形領域等で効果的に活用したりして理解を深める。</li> <li>・授業のはじめに、既習事項の振り返りの時間や3分間計算練習の時間を確保し、基礎・基本の定着を図る。</li> </ul>
社 会	<p>【4月】 「令和7年度学習力サポートテスト」の全ての実施学年で、それぞれ区平均点を1ポイント上回るようにする。資料活用能力を図る問題について、全ての実施学年で、全国の平均を上回るようにする。</p> <p>【10月】 「令和8年度学習力サポートテスト」の全ての実施学年で、それぞれ区平均点を1ポイント上回るようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・導入では、社会的事象から課題をつかみ学習問題を立て、その解決のために教科書や資料集の資料を活用し、さまざまな情報を読み取る活動をし、そこから考えられることを話し合う学習展開を取り入れる。</li> <li>・実際に見学をしたり、学習用タブレットを効果的に活用したりして、意</li> </ul>

	<p>うにする。資料活用能力を図る問題について、全ての実施学年で、全国の平均を上回るようにする。</p>	<p>欲的に調べ学習ができるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多くの情報を取捨選択し、整理してまとめる活動を通して、学習内容を自分の言葉で説明や表現ができるようにする。</li> </ul>
理 科	<p>【4月】 「令和7年度学習力サポートテスト」の全ての実施学年で、それぞれ区平均点を3ポイント上回るようにする。植物の育ち方や動物の様子に関する問題について、全ての実施学年で全国の平均を上回るようにする。</p> <p>【10月】 「令和8年度学習力サポートテスト」の全ての実施学年で、それぞれ区平均点を3ポイント上回るようにする。植物の育ち方や動物の様子に関する問題について、全ての実施学年で全国の平均を上回るようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習問題に対して、予想や実験方法を考える場面を丁寧に扱い、問題解決学習の流れにそって、主体的に学習に取り組むことができるようにする。</li> <li>・一人一人が実験器具を操作できる場を意図的に設定する。</li> <li>・既習の実験・観察の過程や結果を根拠として、予想を立てたり、実験・観察の過程や結果から考察したことを記述したりするなど、思考を深める指導する。</li> <li>・隣接している公園や屋上の理科園を効果的に活用し、植物や生き物の観察等自然事象と体験的に触れ合う機会をとるようにする。その際、学習用タブレットを活用し、植物の観察等を継続的にを行い、一年間の様子が分かるようにしていく。</li> </ul>
英 語	<p>【4月】 「令和7年度学習力サポートテスト」は、6年生のみ実施のため、区平均点を3ポイント上回るようにする。「アルファベットの書き」の問題について、全国の平均を上回るようにする。</p> <p>【10月】 「令和8年度学習力サポートテスト」は、6年生のみ実施のため、区平均点を3ポイント上回るようにする。「アルファベットの書き」と「英文の完成」の問題について、全国の平均を上回るようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・A L Tとのコミュニケーションを取り入れた授業を展開することで、それぞれの場面の受け答えについてより深く理解するようにしていく。</li> <li>・学習したことを生かす場として、A L Tと児童の1対1のアセスメントテストを実施する。</li> <li>・提示する絵カードに文字を入れ、文字に親しむことができるように工夫する。</li> <li>・その際、繰り返し、声に出して発音する場面を設け、単語を正しく発音できるようにする。</li> <li>・アルファベットを正しく書く時間を定期的に取り入れ、大文字と小文字の違いの定着を図る。</li> </ul>
体力向上	<p>【4月】 令和7年度体力調査のすべての実施学年で、体力調査で各項目平均0.5ポイント上昇を目指す。</p> <p>【10月】 令和8年度体力調査のすべての実施学年で、体力調査で各項目平均0.5ポイント上昇を目指す。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童が東京アルファを活用して個々の課題に向き合い、明確な目標を立てて運動に取り組むことができるようにする。</li> <li>・体育授業の準備運動の中で、継続して握力の運動に取り組んだり、学校行事と連携させ、目標を明確にした長縄跳び、短縄跳びや持久走に取り組んだりすることで、基礎体力の向上を図る。</li> </ul>

個別最適な学びと協働的な学びの充実	
取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習用タブレット等の ICT 機器を効果的に活用して児童の主体的な学習を促し、個に応じた指導につなげていく。ドリルソフトを活用して学習の定着を図る。</li> <li>・ICT 機器を活用し、考えの可視化、共有化等で学習用タブレットを有効活用できるようにする。</li> </ul>

探究的な学びの充実	
取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各教科等の授業の中で言語活動を充実させるとともに、「学び合い」の時間を位置付け、発表、対話、話し合い等を意図的・計画的に発達段階に応じて取り入れる。</li> <li>・カリキュラムマネジメントの視点に立ち、各教科の学びを横断的に関連付け、教育課程を見直す。</li> <li>・個々の課題を見出し、その課題解決に向けた授業展開を工夫する。</li> </ul>

読解力の育成	
取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝読書の時間や図書の時間には、図書館指導員と連携を図り、様々なジャンルの本に親しませ、読書の幅を広げるようにする。</li> <li>・学習で出てきた文章を丁寧に読み取る機会を作り、文章の内容を正しく読み取ることができるようにする。また、問われていることに対して、どのように答えるべきか、演習を重ねる。</li> </ul>



### 3 取組結果の検証

	令和7年度の取組の成果	令和7年度の取組の課題と解決策
国 語		
算数・数学		
社 会		
理 科		

英 語		
体力向上		

個別最適な学びと協働的な学びの充実	
成果と課題	

探究的な学びの充実	
成果と課題	

読解力の育成	
成果と課題	